生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	血漿 BNP 値に影響を及ぼす臨床的因子の検討		
1.研究の目的と方法	B-type Natriuretic Peptide（BNP）は心不全のマーカーとして臨床的に用いられ ています。BNP は肥満患者では低値となり、腎不全患者や女性では逆に高値となる 事が知られています。しかし BNP に影響を及ぼす臨床的因子は充分には検討され ておりません。本研究では、主に BNP に注目してカテーテル検査を施行したハイ リスク症例を対象に BNP に影響を及ぼす因子の検討を目的としています。		
2.研究期間	2013 年 04 月 01 日～2025 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3.対象となる方等	研究機関：☑附属病院 ☑葛飾医療センター ☑第三病院 ☑柏病院 対象となる方：心疾患が疑われ、上記研究機関で 2008 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に心臓カテーテル検査を受けた方。		
4.研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	血液、尿から治療のために採取された一般採血、尿検査結果（血糖、HbA1c、インスリン、腎機能（Cr, eGFR),BNP,脂質関連(TG,HDL C LDL-C）等)等の結果データ	
	(2)試料の取得の方法	新たに試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	カテーテル結果（冠動脈病変数、左室駆出率 心内圧）や年齢・ 性別、身長、体重、既往歴、喫煙状況、内服薬などの基本情報	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5.研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 東京慈恵会医科大学附属病 院 循環器内科学講座
		氏名	南井 孝介
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学　学長　松藤千弥	
	(3)当施設の試料・情報の管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4)共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

6.試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2013 年 4 月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 循環器内科学講座 研究責任者：准教授 南井 孝介（みない こうすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3261） 対応時間：平日平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。